

活動日	時間	天候	記録者
2019年4月5日(金)	9:30~12:00 (イベント準備作業)	(晴)	(菅田)
2019年4月11日(木)	9:30~12:00	(晴)	
2019年4月20日(土)	9:30~12:00 (イベント前日準備作業)	(晴)	
2019年4月21日(日)	9:00~16:00 (開村30周年記念イベント)	(晴)	
2019年4月24日(水)	9:30~12:00	(曇り)	

  

参加者氏名 (5+11+10+ 11+4名)	(4月5日) 磯野彰夫、菅田忠志、塩ノ谷年子、俵 貴志子 橋野美子、
	(4月11日) 磯野彰夫、菅田忠志、塩ノ谷年子、佐藤泰仙、清水英輔、俵 貴志子 橋野美子、中西 優、水島康夫、松本治美、山田喜義
	(4月20日) 菅田忠志、小林澄夫、塩ノ谷年子、佐藤泰仙、俵 貴志子 田路義弘、中西 優、松本治美、山田喜義、米倉 進
	(4月21日) 菅田忠志、小林澄夫、塩ノ谷年子、佐藤泰仙、俵 貴志子 田路義弘、中西 優、橋野美子、松本治美、山田喜義、米倉 進
	(4月24日) 菅田忠志、中西 優、橋野美子、若尾孝子

  

今月実施した 作業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 花山梅林会グループから、そこで育った3齢幼虫約 50 匹の提供あり。4月21日の開村30周年記念イベント「カブトムシふれあいコーナー」で、子どもたちの相手になってもらう。</li> <li>2. 5月から始まる【花実の森親子カブトムシ生育観察会】で、孵化後生育している場所から、林内の生育観察小屋へ引越する作業の備え、生育状況の確認を行い順調に生育していることを確認した。</li> <li>3. 日頃、なかなか手が回らない林内設備のミーティングテーブルや散策道の橋・階段などの補修作業の実施。</li> </ol>
----------------	--

  

写真説明	4. 開村30周年記念イベント「カブトムシふれあいひろば」の実施。
------	-----------------------------------

4月5、11、20日



花山梅林から引っ越してきた幼虫。開村30周年記念イベントで子どもたちのお相手頼むよ。



こちらは5月から始まる「2019年度親子カブトムシ生育観察会」の準備作業。幼虫の生育状況の確認や、子どもたちに作ってもらう今年の産卵場所づくり用の腐葉土確認作業と忙しい。



日頃なかなか行き届かない林内の施設の補修。ミーティングテーブルの補修塗料の塗布作業もそのひとつ。



入口の排水溝のふたは、今までコナラの枝を活用していたが、腐食によるけがの心配があったが、今回U字ブロックの橋に改修。



開村30周年イベント「カブトムシ幼虫ふれあいひろば」に運び込む腐葉土の袋詰め(20個)の作業も終わった。

4月21日



4月21日、開村30周年記念イベントで、我々花実の森チームは“カブトムシ幼虫ふれあいひろば”を提供。幼虫の引越など観察・ふれあいの準備も忙しい。午前・午後各20家族の受付も途中で締切となるほどの盛況だった。



見つけた～  
大きい～



かわいい～

幼虫探しが始まった。最初はおっかなびっくりでなかなか見つからなかった子どもたちも、次第に慣れて次々見つけはじめる。



幼虫ふれあいの後は、木工クラフトコーナーで各自が創意工夫をしながら、いろいろな木工細工を楽しんでもらった。



ササユリ他いろいろな野草の新芽が出始めた。立ち入り禁止のロープを張り保護していく。



毎年少しずつ増えている林縁のナルコユリ。



↑こちら盗む人  
盗掘とみられる痕跡



花実の森に立つ盗掘防止の看板も  
何となくむなく映る



↑こちら増やす人  
懲りずにこれからも



今咲き競うスミレ 3種。

- (上) セグロシハイスミレ
- (右) スミレ
- (下) タチツボスミレ



めっきり減ってきたシュンランも今が咲き時。



野草の写真と違って、花木の写真は花ポイントが高いので難しく、なかなかチャンスに恵まれない。それでも今は綿菓子を被せたように咲くアオダモの花が満開だ。